

平成23年11月22日

広島市立図書館・広島大学図書館連携事業

講演会「日本人が読んだ中国の書物」を開催

広島大学図書館は、地域貢献事業の一環として、広島市立図書館との間に搬送便による図書の相互貸出・企画展示会・講演会などを行っています。

第4回目となる広島市立図書館における講演会を、下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

なお、来年2月には広島市立図書館において、広島大学医学資料館、広島大学図書館主催の企画展示会を開催する予定です。

記

- タイトル 広島大学図書館・広島市立図書館連携事業講演会  
「日本人が読んだ中国の書物」
- 日時 平成23年12月11日（日）14:00～16:15
- 場所 広島市立中央図書館3階セミナー室  
（広島市中区基町3-1）
- プログラム  
「明代の小説はどう読まれたか —— 『西遊記』や『水滸伝』  
の意外な用途」  
川島 優子（大学院文学研究科 准教授）  
「見ぬ世の人を友とする —— 『文選』の受容」  
富永 一登（図書館長、図書館担当副学長）
- 申込み 広島市立中央図書館にお申し込み下さい

【お問い合わせ先】

広島大学図書館  
図書学術情報普及グループ・リーダー 江森 早穂  
TEL:082-424-6221、FAX:082-424-6204  
Email:tosho-fukyu-gl@office.hiroshima-u.ac.jp

広島市立図書館・  
広島大学図書館連携事業講演会

# 日本人が 読んだ 中国の書物

2011年12月11日(日)  
14:00~16:15

広島市立中央図書館3階セミナー室  
(広島市中区基町3-1)

## [プログラム]

- 13:30~ 受付
- 14:00~ 開会挨拶  
広島市立中央図書館長
- 14:10~15:10 明代の小説はどう読まれたか  
—「西遊記」や「水滸伝」の意外な用途  
川島 優子 (広島大学大学院文学研究科 准教授)
- 15:15~16:15 見ぬ世の人を友とする —「文選」の受容  
富永 一登 (広島大学図書館長)

[お申し込み・お問い合わせ]

広島市未来都市創造財団 広島市立中央図書館  
<http://www.library.city.hiroshima.jp>

TEL.082-222-5542 FAX.082-222-5545

事前申込が必要です[先着60名]



中国から伝来した書物は、日本文化の形成に重要な役割を果たしてきました。今も図書館には、伝

来した書物そのものや、日本で筆写されたもの、あるいは訓点を施して刊行されたものなどが所蔵されています。時には古い書物の発見がニュースになったりします。

今回は、江戸時代以降、多くの読者を持つ「西遊記」などがどのような形で広まったのか。また、中国の随・唐以降、知識人の必読文献となった「文選」が日本でどのように受容されたのか。日本での蔵書、出版状況などから考えてみたいと思います。中国の書物の意外な用途がわかれば、もしかして、皆さんの身近に貴重な書物を発見できるかもしれません。

